

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【公表番号】特表2007-526820(P2007-526820A)

【公表日】平成19年9月20日(2007.9.20)

【年通号数】公開・登録公報2007-036

【出願番号】特願2006-545541(P2006-545541)

【国際特許分類】

B 0 1 J	2/02	(2006.01)
H 0 1 L	21/027	(2006.01)
B 8 2 B	3/00	(2006.01)
B 2 9 B	9/10	(2006.01)
B 2 9 B	11/06	(2006.01)
B 2 9 C	59/02	(2006.01)
B 2 9 C	43/02	(2006.01)

【F I】

B 0 1 J	2/02	Z
H 0 1 L	21/30	5 0 2 D
B 8 2 B	3/00	
B 2 9 B	9/10	
B 2 9 B	11/06	
B 2 9 C	59/02	Z
B 2 9 C	43/02	

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月19日(2007.12.19)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

人工的形状と、最大幅で約10ミクロン未満のサイズとを有する分離構造に構成され、かつ次元化された材料を含む、ナノサイズ物品。

【請求項2】

前記人工的形状が、高再現性を有する人工的形状を含む、請求項1記載のナノサイズ物品。

【請求項3】

前記人工的形状の高再現性が、約100ナノメートル未満の人工的形状を包含する、請求項2記載のナノサイズ物品。

【請求項4】

前記人工的形状が、角度、端、弧、頂点、実質的に平坦な表面、少なくとも2つの実質的に平行な表面、及び点を含む、請求項2記載のナノサイズ物品。

【請求項5】

複数の前記分離構造をさらに含む、請求項1記載のナノサイズ物品。

【請求項6】

前記複数の分離構造の各分離構造の前記人工的形状が実質的に同一である、請求項5記載のナノサイズ物品。

【請求項 7】

前記分離構造がさらにカーゴを含む、請求項1記載のナノサイズ物品。

【請求項 8】

前記カーゴが遺伝子材料、薬物、又は治療材料を含む、請求項7記載のナノサイズ物品。

【請求項 9】

前記材料が刺激に応答して分解する、請求項1記載のナノサイズ物品。

【請求項 10】

前記刺激が、pH、照射、イオン強度、温度、及び交流磁場又は電場からなる群から選択される、請求項9記載のナノサイズ物品。

【請求項 11】

前記分離構造の表面が、細胞標的化機能、又は細胞膜透過性機能を含む、請求項1記載のナノサイズ物品。

【請求項 12】

前記複数の分離構造に連結された支持体をさらに含む、請求項5記載のナノサイズ物品。

【請求項 13】

実質的に同一な複数の分離構造に構成され、かつ次元化された液体材料を含む、ナノサイズ物品であって、各分離構造が、人工的形状と、最大幅で約10ミクロン未満のサイズとを有する、前記ナノサイズ物品。

【請求項 14】

人工的形状と、最大幅で約10ミクロン未満のサイズとを有する分離構造に構成され、かつ次元化された液体材料を含む、ナノサイズ物品。

【請求項 15】

ナノサイズ物品の作製方法であって：

材料をパターン形成テンプレートに導入するステップであって、該パターン形成テンプレートが、その中に複数の凹みを規定し、該複数の凹みの各凹みが、実質的に等しい人工的な三次元形状であり、かつ該パターン形成テンプレートが、約20mN/m未満の表面エネルギーを有するエラストマー材料を含む、前記ステップ；

前記材料が前記パターン形成テンプレートの前記凹みと接触している間に該材料を処理して、複数の実質的に等しい人工的構造を形成するステップ；及び

前記パターン形成テンプレートの凹みから前記実質的に等しい人工的構造を除去するステップを含む、前記作製方法。

【請求項 16】

前記エラストマー材料がパーフルオロポリエーテルである、請求項15記載の方法。

【請求項 17】

前記エラストマー材料の前記表面エネルギーが約15mN/m未満である、請求項15記載の方法。

【請求項 18】

前記導入ステップに先立って、プラズマ処理、化学的処理、又は分子の吸着により前記パターン形成テンプレートの表面を修飾するステップをさらに含む、請求項15記載の方法。

【請求項 19】

前記人工的な三次元形状が、台形、円錐、矩形、矢形状、ウイルスの形状、あらかじめ定められた角度、実質的に平坦な表面、少なくとも2つの実質的に平行な表面、頂点、端、弓形、及びタンパク質の形状からなる群から選択される形状を含む、請求項15記載の方法。

【請求項 20】

前記構造の生物学的認識元素を該構造の表面に配置することにより、該生物学的認識元素が細胞結合部位に接近可能になるように、前記人工的構造を最適化するステップをさら

に含む、請求項 1 5 記載の方法。

【請求項 2 1】

前記構造の核が、活性因子を含むように構成される、請求項 1 5 記載の方法。

【請求項 2 2】

約 2 0 mN / m 未満の表面エネルギーを有するエラストマー材料を含むパターン形成テンプレートを含む、物品。

【請求項 2 3】

前記エラストマー材料がフルオロエラストマーを含む、請求項 2 2 記載の物品。

【請求項 2 4】

前記エラストマー材料がバーフルオロポリエーテルを含む、請求項 2 2 記載の物品。

【請求項 2 5】

前記パターン形成テンプレートが複数の人工的な三次元の凹みを規定し、かつ実質上、該複数の凹みの各凹みが実質的に同一の凹みを有する、請求項 2 2 記載の物品。

【請求項 2 6】

前記複数の凹みがアレーに配置される凹みを含む、請求項 2 5 記載の物品。

【請求項 2 7】

前記エラストマー材料が、約 1 5 mN / m 未満の表面エネルギーを有する、請求項 2 2 記載の物品。

【請求項 2 8】

前記パターン形成テンプレートが、台形、円錐、矩形、及び矢形状からなる群から選択される形状を有する人工的な三次元の凹みを規定する、請求項 2 2 記載の物品。

【請求項 2 9】

バーフルオロポリエーテルを含む型を包含するナノ作製物品であって、該型が約 1 0 0 ナノメートル未満の再現性を有する構造を規定する、前記ナノ作製物品。

【請求項 3 0】

パターン形成テンプレートと、該パターン形成テンプレート上に配置された被覆とを含む物品であって、該被覆が約 2 0 mN / m 未満の表面エネルギーを有する、前記物品。

【請求項 3 1】

ナノ作製物品の作製方法であって：

低粘度のエラストマー材料をパターン母型に導入するステップであって、該エラストマー材料が約 2 0 mN / m 未満の表面エネルギーを有する、前記ステップ；

前記材料を処理して、前記パターン母型のパターン形成テンプレートを形成するステップであって、該パターン形成テンプレートが該パターン母型に構成された構造を複製する、前記ステップ；及び

前記パターン母型から前記パターン形成テンプレートを除去するステップを含む、前記作製方法。

【請求項 3 2】

前記エラストマー材料が室温で液体である、請求項 3 1 記載の方法。

【請求項 3 3】

前記エラストマー材料がバーフルオロポリエーテルを含む、請求項 3 1 記載の方法。

【請求項 3 4】

第 1 の構造と、該第 1 の構造に連結された第 2 の構造とを含むパターン形成された物品であって、該第 2 の構造が、約 2 0 mN / m 未満の表面エネルギーを有するエラストマー型中で材料を処理することにより構成され、かつ次元化されており、かつ該第 2 の構造が最大幅で約 1 ミクロン未満の人工的形状を含む、前記パターン形成された物品。

【請求項 3 5】

前記エラストマー型が、実質的に化学的耐性を有するエラストマー材料を含む、請求項 3 4 記載のパターン形成された物品。

【請求項 3 6】

前記エラストマー型がフルオロエラストマーを含む、請求項 3 4 記載のパターン形成さ

れた物品。

【請求項 3 7】

前記フルオロエラストマーがパーフルオロポリエーテルを含む、請求項 3 6 記載のパターン形成された物品。

【請求項 3 8】

前記表面エネルギーが約 1 5 m N / m 未満である、請求項 3 4 記載のパターン形成された物品。

【請求項 3 9】

前記第 1 の構造が、前記第 2 の構造の材料を含む、請求項 3 4 記載のパターン形成された物品。

【請求項 4 0】

前記第 1 の構造が膜を含む、請求項 3 4 記載のパターン形成された物品。

【請求項 4 1】

前記第 1 の構造、及び前記第 2 の構造が別々の構造である、請求項 3 4 記載のパターン形成された物品。

【請求項 4 2】

材料を、約 2 0 m N / m 未満の表面エネルギーを有するエラストマー材料を含む型に導入するステップ；

前記材料が前記型と接触している間に該材料を処理するステップ；及び

前記型から前記処理された材料を除去するステップを含む、

パターン形成された物品の作製方法。

【請求項 4 3】

前記フルオロエラストマー材料がパーフルオロポリエーテルを含む、請求項 4 2 記載の方法。

【請求項 4 4】

前記エラストマー材料が、約 1 5 m N / m 未満の表面エネルギーを有する、請求項 4 2 記載の方法。

【請求項 4 5】

膜を完全に貫通して伸長する、複数の実質的に交わらない人工的な孔を規定する膜を含む人工膜であって、該複数の交わらない孔が、幾何学的形状において実質的に同一であり、かつ約 1 0 ミクロン未満の寸法を有する、前記人工膜。

【請求項 4 6】

前記複数の交わらない孔が約 1 ミクロン未満の直径からなる、請求項 4 5 記載の人工膜。

【請求項 4 7】

前記幾何学的形状が、矩形、台形、及び円筒からなる群から選択される、請求項 4 5 記載の人工膜。

【請求項 4 8】

人工膜の作製方法であって：

液体材料をパターン形成テンプレートに導入するステップであって、該パターン形成テンプレートが、複数の実質的に均一な人工的構造を含み、かつ該パターン形成テンプレートが、約 2 0 m N / m 未満の表面エネルギーを有するエラストマー材料を含む、前記ステップ；

前記液体材料が前記パターン形成テンプレート、及び前記複数の実質的に均一な人工的構造と接触している間に、該液体材料を処理するステップ；及び

前記パターン形成テンプレート、及び複数の実質的に均一な人工的構造から前記処理された液体材料を除去するステップであって、該処理された液体材料が、該複数の実質的に均一な人工的構造に対応する複数の実質的に均一な孔を、それを通して規定する、前記ステップを含む、前記作製方法。

【請求項 4 9】

前記フルオロエラストマー材料がパーフルオロポリエーテルを含む、請求項 4 8 記載の方法。

【請求項 5 0】

サンプルの分離方法であって：

サンプルを膜の第1の面に導入するステップであって、該膜が、膜を完全に貫通して伸長する複数の実質的に交わらない人工的な孔を規定し、かつ該複数の実質的に交わらない孔が、幾何学的形状において実質的に同一であり、かつ約10ミクロン未満の寸法を有する、前記ステップ；及び

前記サンプルの少なくとも一部を、前記膜の前記第1の面から前記膜の第2の面へ、前記人工的な孔を通して移動させ、該サンプル中の、該膜の第2の面側の物質が、前記実質的に交わらない孔のおよそ直径より小さくなるようにするステップを含む、前記分離方法。

【請求項 5 1】

前記交わらない孔が、寸法で約3ミクロン未満の直径を有する、請求項 5 0 記載の方法。

【請求項 5 2】

人工的形状と、最大幅で約1ミクロン未満のサイズとを有する分離構造として構成され、かつ次元化された材料を、細胞の中に導入するステップを含む、細胞の処理方法。

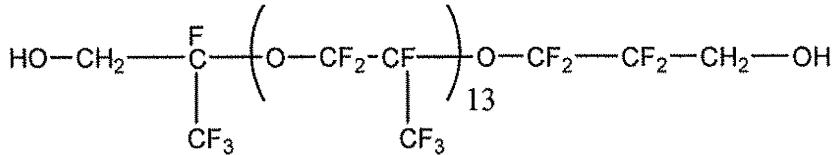
【請求項 5 3】

前記分離構造が、遺伝子材料、薬物、及び治療材料からなる群から選択される治療物質をさらに含む、請求項 5 2 記載の方法。

【請求項 5 4】

下記構造を含む組成物：

【化 1】



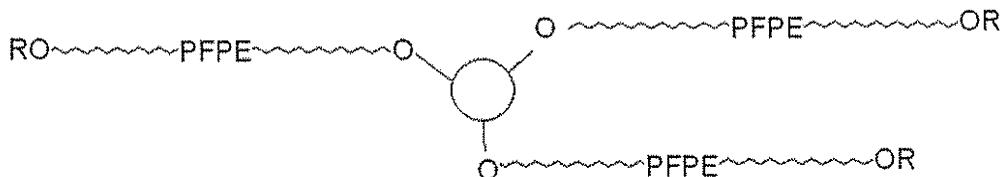
分子量 = 2436

。

【請求項 5 5】

下記構造を含む組成物：

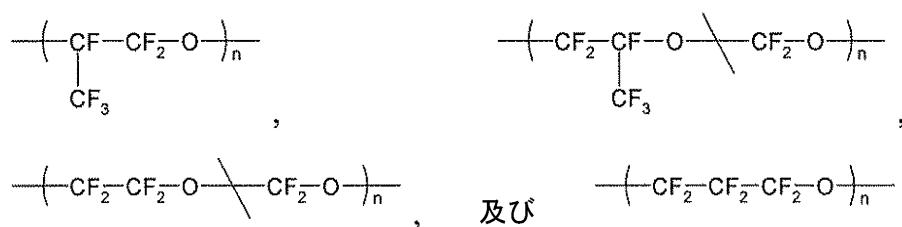
【化 2】



(式中、Rはアクリレート、メタクリレート、スチレン、エポキシ、及びアミンからなる群から選択され、

中央の円は多官能性分子、及び環状化合物からなる群から選択され、かつ該PFPEは下記構造からなる群から選択される：

【化3】



。) 。